

2026春季生活闘争 政策・制度要求実現総決起集会 アピール(案)

2026春季生活闘争は、ヤマ場に向けた本格的な交渉に入りました。
私たちは、生活の向上にこだわります。

2年連続で5%台の賃上げが実現したものの、生活は向上せず、個人消費は依然として低迷しています。今年は、実質賃金の持続的な上昇を伴う“賃上げノルム”の確立をはかる正念場です。私たちは、要求に込めた働く仲間の切実な期待と「人への投資」の重要性を強く訴えていきます。

私たちは、格差是正にこだわります。

特に中小組合においては、過去3年間にわたり物価を上回る賃上げを獲得できていないところも少なくありません。労務費を含む価格転嫁率は、5割程度と道半ばであり、適切な価格転嫁・適正取引のさらなる浸透が不可欠です。雇用形態間、男女間の格差是正もまったなしの課題です。生活できる賃金、働きの価値に見合った賃金、働き方の改善の実現を強く求めていきます。

私たちは、賃上げの波及と仲間づくりに全力で取り組みます。

労働組合の有無による賃上げ格差も広がっています。社会への積極的な情報発信やアピール行動、最低賃金の引き上げなどを通じ、賃上げのすそ野を広げ、すべての働く仲間の生活向上の実現をめざします。組合づくりの相談会や労働組合のない企業への訪問活動を全国で展開し、仲間の輪を広げていきます。

また、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、政策・制度要求への取り組みを推進していきます。

こだわろう!くらしの向上 ひろげよう!仲間の輪

組合員の総意と組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜きましょう!

2026年3月7日

連合兵庫・東部地域協議会合同

「2026春季生活闘争 政策・制度要求実現総決起集会」